

# 令和6年3月27日より関鍛冶伝承館において公開します。

## 福留房幸刀匠が制作した槍を購入しました。

### 《福留房幸 略歴》

- 本名: 福留 裕晃  
1985年 福岡県福岡市に生まれる  
2005年 二十五代藤原兼房日本刀鍛錬場入門  
2010年 文化庁美術刀剣刀匠技術保存研修会 作刀承認を受ける  
2011年 独立  
2015年 米国エール大学ピーボディ博物館サムライ展協力、講演  
2017年 阿蘇神社へ有志とともに房興との合作大太刀「蛭丸写」を奉納  
2017年 関鍛冶伝承館へ有志とともに房興との合作大太刀「蛭丸写(影打)」を寄贈  
2020年 熱田神宮へ有志とともに剣を奉納



撮影: 野田 正明  
スタジオギブ

### 《刀剣の概要》

- 種類: 槍  
銘: 美濃國志津野住房幸 彫同作  
令和五年八月吉日  
長さ: 31.7cm 反り: なし  
彫刻(表): 護摩箸・梵字(カーン)・蓮台  
(裏): 三鈷付柄剣

現在9名の刀匠が関伝日本刀鍛錬技術保存会・刀匠部会に所属し、関地域において日本刀を作り続けています。

刀匠部会に所属する刀匠・福留房幸刀匠の刀剣を購入、関鍛冶伝承館に展示することで、関で現在も活動続ける刀匠たちや日本刀文化について広く紹介しています。

〈報道機関からの照会先〉

産業経済部観光課  
TEL : 0575-23-7704